

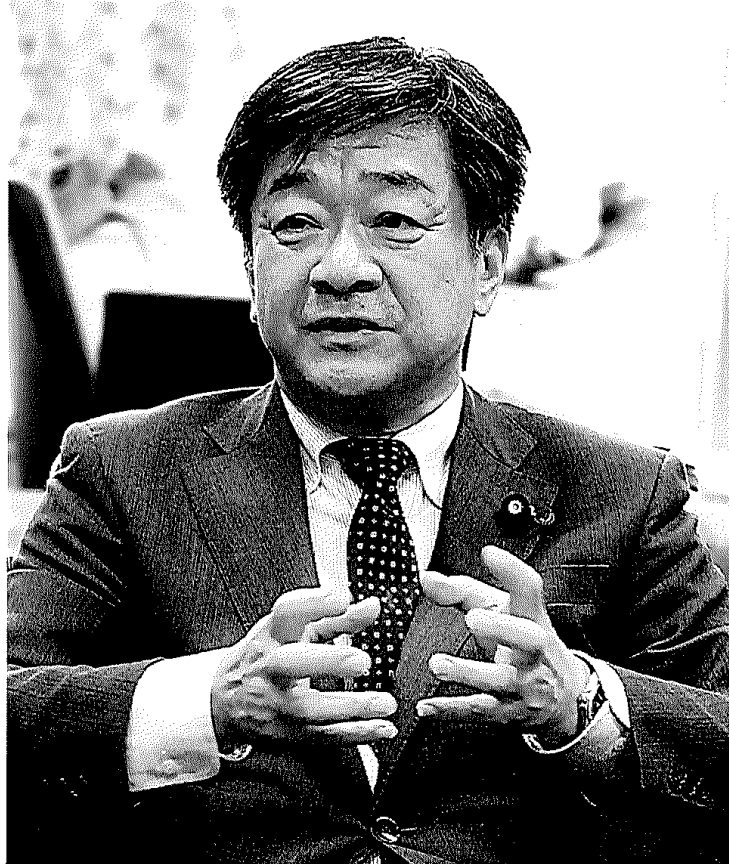
一般社団法人  
**全国中小建設業協会**  
 編集発行人 土志田 領司  
 〒104-0041 東京都中央区新富2-4-5  
 URL <http://www.zenchuken.or.jp/>  
 電話 03(5542)0331(代表) F A X 03(5542)0332

# 地域に寄り添い政治活動進める

## 足立参院議員に松井会長が聞く

本年7月に行われた参議院議員選挙に建設業の職域代表として立候補し、高位当選を果たした足立敏之議員に全国中小建設業協会の委員長。

## 公共事業予算の拡大に努める



足立敏之参院議員

松井 当選おめでとうございませう。先生は全国津々浦々、小まめに回り、業界の声を聞いていた。その熱意が評価された結果だと思ふ。

足立 建設業界の皆さんの支援を受けて、協雅史先生の後継として当選することができた。心から感謝している。私がいちだいた29万3799票は、この選挙制度になっ

て建設業の職域代表としては最も多い得票数だった。この得票は期待の表れと思っている。期待にこたえる政治活動を心がけたい。

選挙戦ではインフラ整備のための公共事業予算の確保と建設産業再生のための施策の充実を約束してきた。それへの期待が票につながったと思っている。しっかりと政治

### 重要なのは適正な予定価格の設定

土志田 端数整理として歩切りが行われている。足立 歩切りはもうないのではないかと。大事なものは適正な予定価格が設定されているかどうかだ。最新の労務単価、最新の歩掛かりを採用しているか、見積もりをとっているかなどに課題がある。そこに集中的にメスを入

れたい。

土志田 土木工事は最新単価の採用が進んだが、建築工事は遅れている。足立 国交省の官庁営繕部がその問題意識をもっている。国がリードして

活動につなげていきたい。

現場を知ることが政治活動の基本と思っっている。地方の声を聞き、地域に寄り添った政治活動を進めていきたい。

土志田 今後の公共事業の規模についてどう考えているか。

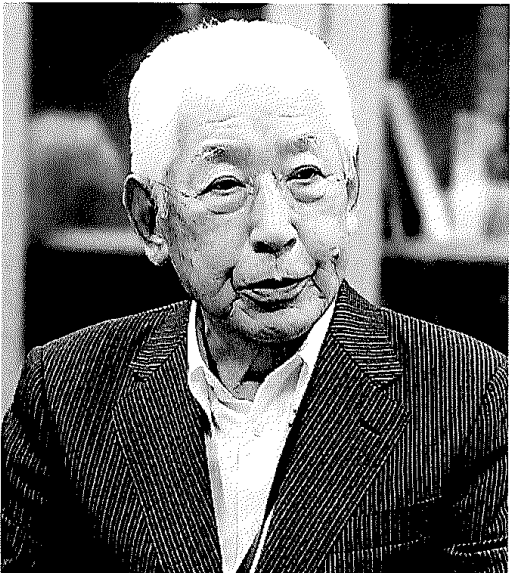
足立 今年度の公共事業予算は約6兆円で、ピーク時の半分規模だ。民主党政権下の3年間で35%も削減し、建設業は非常に厳しい状況に追い込まれた。公共事業予算を一旦に戻すことは難しいが、徐々に増やしていきたい。当面は補正予算を確保、当初予算と組み合わせ

て業界の期待に応えたい。

松井 自治体のトップの熱意によって公共事業の推進に違いが生じてくる。われわれが首長に事業の実施を働きかける必要があると考えている。足立 地域に最も密着している全中建から地域のインフラ整備の課題を指摘して欲しい。維持管理が疎かにされているとか、老朽化が進んでいるといった点を首長に伝えてほしい。

なるおそれがある。むしろ仕事量がないときは前倒して発注して平準化を図ることが大事だ。年間を通じて切れ目なく仕事が行われるようにしたい。

最低制限価格の公契連モデルは90%程度になっており、それ以上に設定している発注者もいる。最低制限価格の引き上げも大事だが、さらに重要なのは、予定価格の事前公表をやめることだ。事前に公表するために入札価格が最低制限価格に張り付く。改めさせた



松井守夫会長



土志田領司副会長・広報委員長